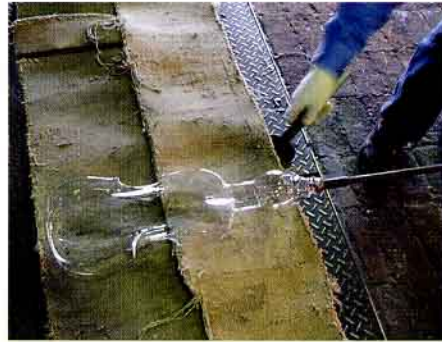




## 世界で初のガラスのバイオリン「<sup>はりお</sup> 玻璃王バイオリン」の制作に成功。

耐熱ガラスの素材特性と、手吹き技術により、今まで作られることがなかったガラス素材のバイオリン「玻璃王バイオリン」が完成しました。

バイオリンのやわらかな曲線を薄く均一にガラスで再現するために、手吹きでかつ停止吹き技術を持つ熟練の職人が試行錯誤した後、ボディの再現に成功。さらに、加工・グラビール加飾・ペインティングと各分野の達人の手が加わり出来上がったガラスのバイオリン「玻璃王バイオリン」は、まさに技術の結晶といえるものです。

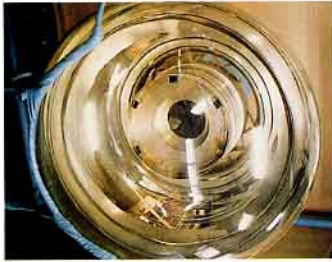


「玻璃王バイオリン」を演奏するバイオリニスト 川井郁子さん



世界で初めてのガラスのバイオリン「玻璃王バイオリン」





衝撃のカミオカンデ『地下1000mの闘い』  
NHK「プロジェクトX」にて  
ハリオの手吹き技術が紹介されました。



2003年3月NHKの人気番組「プロジェクトX」の取材を古河工場にて受けたものが昨年5月27日（火）午後9時15分～10時 衝撃のカミオカンデ「地下1000mの闘い」と題して放送されました。

これは2002年ノーベル物理学賞を受賞された、小柴昌俊 東大名誉教授の研究装置「カミオカンデ」（素粒子観測装置）に使用された、20インチ径・光電子増倍管の材料を、昭和56年に当社が作成したことから取材を受け放送となったものです。

当時、直径50cm、厚さ4mmで均一にガラスバルブを作るには、手吹きしかなく、しかも至難の業でした。